

なめりかわ

No.189

平成30年2月1日発行

滑川市議会

☎(076) 475-2111

E-mail:gikai@city.
namerikawa.toyama.jp



市議会だより



新たな15名の市民の代表

平成29年12月定例会一覧

○議案の審議結果			○委員会			○本会議（主な内容）			開会	閉会
予算（原案可決）	6件		4・11・19・25日	議会運営委員会		11日	会期の決定	提案理由説明	12月11日	12月25日
条例（原案可決）	5件		20日	総務文教消防委員会		18日	代表質問・一般質問	補足説明	会期15日間	
その他（原案可決）	9件		21日	産業厚生建設委員会		19日	一般質問	議案の委員会付託		
陳情（採択）	1件					25日	委員長報告・質疑・討論・採決	閉会中の継続審査		
合計	21件									

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は3月です。

3月10日(土)は土曜議会を開催予定です。

新たな市民の代表となった15名の議員を紹介します

3



- わきさか あきお
1. 脇坂 章夫 (69)
2. 改養寺48-3
3. 好き嫌いなし
4. 身体を動かすこと

2



- おおうら とよたか
1. 大浦 豊貴 (39)
2. 辰野14-8
3. 刺身
4. サッカー、ゴルフ

1



- だいもん りょうすけ
1. 大門 良輔 (32)
2. 高月町561
3. ラーメン
4. ソフトテニス

1. 氏名・年齢

2. 住所

3. 好きな食べ物

4. 趣味

※議員番号順に並んでいます。

※平成30年1月1日現在で作成しています。

7



- おざき てるお
1. 尾崎 照雄 (63)
2. 稲泉新310-2
3. ラーメン
4. 読書、野菜づくり、カラオケ

6



- たけはら まさと
1. 竹原 正人 (44)
2. 栗山3135
3. TKG (たまごかけごはん)
4. 愛犬と戯れる

5



- かどかわ まさと
1. 角川 真人 (40)
2. 中町1418
3. 牛丼
4. 歴史小説

4



- あおやま ゆきお
1. 青山 幸生 (35)
2. 上梅沢382
3. 好き嫌いなし
4. 読書、ボクシング、宝塚

11



- ふるさわ としゆき
1. 古沢 利之 (63)
2. 浜四ツ屋39
3. バイの刺身
4. 読書

10



- いわき てるみ
1. 岩城 晶巳 (65)
2. 追分3793
3. 麺類
4. ゴルフ、歴史本の読書

9



- はら あきら
1. 原 明 (64)
2. 宮窪1063-6
3. お米 (ごはん)
4. 音楽鑑賞

8



- みずの たつお
1. 水野 達夫 (54)
2. 田中新町134-2
3. ラーメン
4. ランニング
(H30.1.28 失職)

15



- たかはし ひさみつ
1. 高橋 久光 (69)
2. 小林112
3. 果樹 (全般)
4. 園芸全般

14



- なかがわ いさお
1. 中川 勲 (70)
2. 北野1013
3. リンゴ、カレーライス
4. スポーツ観戦 (野球、相撲)

13



- かいだ あきえ
1. 開田 晃江 (67)
2. 有金801
3. おすし
4. スポーツ観戦

12



- うらだ てけあき
1. 浦田 竹昭 (66)
2. 開520
3. カレーライス
4. 読書

議会構成が決定！

平成29年 第2回臨時会

一般選挙後初の議会となる「平成29年第2回臨時会」が11月29日に開催され、市議会を代表する議長の選出をはじめ、議会活動の体制が決まりました。

議長に原 明氏、副議長に水野達夫氏

(H30.1.10 辞職・現在は空席)



原 議長

一般選挙後初めて招集された議会であるため、地方自治法の規定に基づき年長の中川議員が臨時議長となり議事が進められました。

最初に議長選挙が行われ、指名推薦により原明氏が議長に当選。続いて、新議長の議事進行により議席の決定、会期を1日として副議長の選挙を行い、指名推薦により水野達夫氏が副議長に当選されました。

次に議会運営委員会と総務文教消防、産業厚生建設の各常任委員会の委員の選出を行いました。

また、魚津市鹿熊地内の養鶏場建設に係る調査研究を目的とした「魚津市鹿熊地内の養鶏場建設検討特別委員会」の設置及び委員の選出を行いました。

続いて、議会報編集委員会委員の選

任、広報公聴委員会委員の選任を行いました。

さらに、富山地区広域圏事務組合、滑川中新川地区広域情報事務組合、富山県東部消防組合議会議員を選出するとともに、民生委員推薦会委員等各種の委員を決めました。

議会構成を決めた後に、市長提出議案2件の審議を行い、市監査委員に浦田竹昭氏を選任することに同意。地方自治法第179条による専決処分を承認し、臨時会を閉会としました。

新しい議会構成

(◎委員長 ○副委員長)

◆議会運営委員会

議会の円滑な運営のために、議会の日程や議会に関する規則など、必要な事項について協議し、意見調整を行います。各会派や無会派の議員から、6名選ばれます。議長はオブザーバーとして委員会に出席します。

◎岩城 晶巳 ○古沢 利之
尾崎 照雄 浦田 竹昭
開田 晃江 中川 勲

ポイント

★常任委員会

市の業務は幅広く、多岐にわたるため、効率的に調査、審査を行うために、専門的な委員会を設置しています。

総務文教消防、産業厚生建設の2つの常任委員会があり、議案や請願等の詳細な審査を行います。各委員長は、本会議で審査結果を報告します。

◆総務文教消防委員会

市の業務のうち財政、基本計画、学校、教育、防災等を所管しています。

◎尾崎 照雄 ○開田 晃江
大門 良輔 脇坂 章夫
水野 達夫※ 岩城 晶巳
古沢 利之 高橋 久光

◆産業厚生建設委員会

市の業務のうち生活、福祉、保健衛生、観光、商工業、上下水道、道路等を所管しています。

◎竹原 正人 ○青山 幸生
大浦 豊貴 角川 真人
原 明 浦田 竹昭
中川 勲

ポイント

★特別委員会

市政における重要な課題について調査研究するため、特別に設置されます。

第2回臨時会及び12月定例会において、3つの特別委員会が設置されました。

◆魚津市鹿熊地内の養鶏場建設検討特別委員会

◎原 明 ○水野 達夫※

大門 良輔 大浦 豊貴
脇坂 章夫 青山 幸生
角川 真人 竹原 正人
尾崎 照雄 岩城 晶巳
古沢 利之 開田 晃江
中川 勲 高橋 久光

◆中滑川駅周辺整備検討特別委員会

◎中川 勲 ○大門 良輔

脇坂 章夫 青山 幸生
角川 真人 尾崎 照雄
水野 達夫※ 高橋 久光

◆公共交通問題検討特別委員会

◎古沢 利之 ○大浦 豊貴

竹原 正人 原 明
岩城 晶巳 浦田 竹昭
開田 晃江

◆広報広聴委員会

ケーブルテレビNet3の議会コーナーの放映内容や、議会報告会の運営など、議会に関する情報発信を行います。

◎青山 幸生 ○中川 勲

大浦 豊貴 脇坂 章夫
古沢 利之 浦田 竹昭
高橋 久光

◇滑川市監査委員

浦田 竹昭

◇各組合議会議員

・富山地区広域圏事務組合
原 明 高橋 久光

・滑川中新川地区広域情報事務組合
大門 良輔 大浦 豊貴
竹原 正人 開田 晃江

・富山県東部消防組合
尾崎 照雄 原 明
中川 勲

◇各種委員

・民生委員推薦会委員
青山 幸生 竹原 正人

・都市計画審議会委員
竹原 正人 尾崎 照雄

※水野達夫議員は1月28日失職

12月定例会

市議会12月定例会は、12月11日から25日までの15日間の会期で開催されました。

審議した案件は、平成29年度一般会計補正予算をはじめ、条例等の市長提出議案19件、陳情1件、閉会中の継続審査の合計21件です。

審議の結果、市長提出議案の19件は原案どおり可決され、陳情は採択となりました。また、閉会中の継続審査につきましても原案どおり可決されました。

本会議

◇12月11日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、予算及び条例等の

市長提出議案19件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。

◇18日、19日は代表質問及び一般質問が行われ、12名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に市長提出議案を所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の25日には本会議を開き、

総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

議案は一括して採決され、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決されました。

次に陳情第2号について採決され、総務文教消防委員長の報告のとおり賛成全員で採択となりました。

また、中滑川駅前用地の今後の利活用についての調査研究を目的とした「中滑川駅周辺整備検討特別委員会」及び公共交通ネットワークの再構築についての調査研究を目的とした「公共交通問題検討特別委員会」の設置及び委員の選出を行いました。最後に閉会中の継続審査を議決して、12月定例会を閉会といたしました。

常任委員会での審査（主な質疑等） 各常任委員会への付託案件はP14をご覧ください。

総務文教消防委員会

慎重審査の結果、「議案第71号」、「議案第77号」から「議案第80号」、「議案第85号」から「議案第89号」までの10議案及び「陳情第2号」については、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

☆平成29年度滑川市一般会計補正予算（第2号）について

問 歳出の財政管理費の財政調整基金積立金において、財政調整基金（※）については、積み立て後の残高で20億6千万円との説明があつたが、どの程度の残高が適当と考えるか。

答 滑川市健全な財政に関する条例では標準財政規模の18%以上ということであり、近年の規模からすると約14億円となる。一方で人口規模が同じような自治体の平均は約29億円となっている。市とすれば、少なくとも条例に基づく14億円は維持したく、さらには今後の財政需要に備えて少しでも多くあれば良いと考えている。

要望 政府の方では、地方自治体の財政調整基金の残高が増加していることから、地方交付税を減額するという動きも出ている。他の地方公共団体と歩調を合わせ、そういった圧力に反撃することをお願い。

答 委員の言うとおりである。全国市長会等の団体でも激しい抵抗をしている。

答 今ほどの国の動向について、基金の増加に伴う交付税の減額は、今回行わないとされた。

また、テニス村整備費について、委員から「みのわ温泉ファミリーハウスの設備のメンテナンスについては、計画的に実施して欲しい。」と意見がありました。

屋内運動場建設事業費について

問 既存の予算と今回の補正予算を合わせた530万円でピッチングマシン3台等の備品を購入することだが、残った予算で他の競技の備品を買う余裕はあるのか。

答 全体的なものはスタートしてからと考えている。体育協会はしっかりやる。

「陳情第2号」については、市当局より「第1項目の電子媒体による交付については、情報公開条例施行規則の改正を行い、平成29年12月1日から実施しており、今後は市民に周知したい。第2項目のホームページの掲載による情報公開については、これまでも広く市民に知っていたため、これまでも広く市民に知っていたため、これを掲載しており、可能なものから対応している。」との見解が表されました。

産業厚生建設委員会

「議案第71号」から「議案第76号」、「議案第81号」から「議案第84号」の10議案につきましては、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

☆平成29年度滑川市一般会計補正予算（第2号）について

コミュニティバスについて

問 コミュニティバス運行費の100万円について、どのような修繕を行うのか。バスの更新の計画は立てているのか。

答 今回はサイドドアの開閉不良、補助ステップの開閉不良等の修理を行う。バスの更新計画は持っていないが、市民の命を預かる乗り物でもあり、今後しっかりと計画を立てていく必要があると考えている。

問 乗車人数の、小型化の検討はしているのか。

答 乗車人数が10人に満たない便もあり、車両の更新の際には、小型車両の導入も検討していきたい。

問 通学や習い事のために小学生を無料にした場合、今よりも大幅に経費がかかると思われるか。

答 小中学生の通学に使えないかという要望はあるが、全ての形で網羅することは、限られた予算、台数では難しい。無料化は、既存のルート前提として考えれば経費はかからないと考える。

答 通勤と通学、両方にあわせるともう1台バスを用意しなければならぬ。福祉の面もあわせトータルで考えたいし、議員からも提案をいただきたい。

市街地空地空家活用支援事業費について
問 空家再生に関して、最終的にどういった形を目指すのか、その周辺だけを活性化したいのか、外から人を呼びたいのか、どのような方向を向いているのか。

答 空家空地はD1D地区（※）に多いため、まず商業の振興を含め、そこを活性化させ、今後対象地区については考えていかなければならない。

問 町なかでは、どうしても駐車場の問題がある。空家を駐車場として活用できないのか。

答 市の空地には停めてもらって構わないが、常駐されないように見回っている。

水田活用推進事業費について

問 一般の方でも野菜をつくることのできる環境や、販売ルートづくりが必要ではないか。

答 農家の皆さんにどのようなものが必要か、どのようにして欲しいかという意見を聞いている。小規模の農家にも野菜をつくっていただきたいが、つくった後の収穫、出荷が大変なため、機械の補助等積極的に推進している。

問 販売ルートの確立等の心配があるから、野菜をつくらないという農家もいるのではないか。どこへ重点を置いて戦略を立てているのか。

答 場所を用意しても売るのがないということもあるので、生産、出荷、販売、後継者等について、トータルで考えている。

※1 財政調整基金 地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するための積立金です。市の財政は、経済の不況等により大幅な税収減に見舞われたり、災害の発生等により思わぬ支出の増加を余儀なくされたりするものであり、このような予期しない収入減少や不時の支出増加等に備え、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うために財源に余裕のある年度に積み立てを行った基金のことです。

※2 D1D地区 国勢調査基本単位区を基礎単位として、原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4千人以上の地区のことです。

☆ほたるい観光施設の指定管理者の指定について

日誌

29年11月7日	長野県須坂市より行政視察 全員協議会
13日	東京都墨田区より行政視察 富山地区広域圏事務組合
14日	行政視察(大阪府)
15日	北アルプス横断道路構想 推進会議設立総会(富山市)
22日	全員協議会 第2回臨時会
28日	全員協議会
29日	議会運営委員会協議会 定例議員協議会
4日	産業厚生建設委員会協議会 12月定例会
6日	広報広聴委員会 富山県東部消防組合議会 議員協議会・全員協議会・ 本会議(魚津市)
11月25日	議会報編集委員会
19日	富山県議会
26日	議会報編集委員会
30年1月10日	議会運営委員会協議会 定例議員協議会 産業厚生建設委員会協議会 議会報編集委員会 富山県議会議長会 議員研修会(富山市) 中滑川駅周辺整備検討 特別委員会協議会 議会報編集委員会 全員協議会 広報広聴委員会

代表質問

12月定例会では12名の議員が質問を行い、42項目について市当局の見解を求めました。
質問と答弁の主な内容は次のとおりです。
(すべての質問等詳細を記録した会議録は、3月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です。ご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください。)
※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表質問



4 3 2 1

2018年度予算編成について
観光について
農業について
市民の安全安心について
(会派)会派自民 中川 勲 議員

Q 他自治体では、財政状況が大き
なテーマとなっているが、当市の
財政は大丈夫か。

A 上田市長 決して豊かではない
が、実質公債費比率は平成21年度
は19・1、平成28年度は9・9と低
下、将来負担比率についても102・
3から34・1と低下し、県下では
2番目である。財政調整基金残高
は、平成21年度末の10億円から平
成28年度末の23億7千万円に増加
、財政力指数0・74と県内3位であ
り、財政はおおむね順調である。

Q 議会が平成28年度決算について
今後改善を求める事項を提出した
が、予算編成に反映されたのか。

A 上田市長 市政の推進を進める
中、事業の合理化、効率化、事業
の選択と集中に努め、いただいた
意見を可能な限り反映させ予算編
成にあたっている。

Q 来春のほたるいか海上観光の準
備は進んでいるのか。

A 石川副市長 滑川漁業協同組合
の観光実行委員会と来年の海上観
光について協議を進めている。ま
た、市の観光協会、滑川漁業協同
組合及び運航主体が連携して事業
の実施にあたることも確認し、来
春の準備を精力的に進めている。

Q ほたるいかミュージアム周辺を
にぎわいの拠点として、周辺にイ
ルミネーション、無料レンタサイ
クルの整備は考えられないのか。

A 石川副市長 レンタサイクルに
ついては、先進事例も早急に調査
し検討する。冬のイルミネーショ
ンは、心温まるが、ミュージアム
ができるときに明かりにも気をつ
けてとの意見があり考える。

Q 富山県が推奨している「富富富」
の生産希望者が少ないと聞くと滑
川市の状況はどうか。

A 碓井産業民生部長 近年の富山県
産コシヒカリの品質が良好で、米
価も上昇基調にあることが新しい
米に対し慎重になり、平成30年産
「富富富」生産登録数が18件、そ
のうち法人4件で約19ヘクタール
の申し込みがあった。

Q シーズンの除雪体制は万全か。

A 長井建設部長 地域の産業経済
と市民生活の安定を図るため除雪
計画を策定した。車道は394路線193・
7km、歩道は小型ロータリー除雪
車1台購入し20路線31・2kmを通
学時間帯前の除雪完了に努める。

・その他質問
愛市購買について

代表質問



- 1 国民健康保険の県域化について
- 2 農業問題について
- 3 富山広域連携中枢都市圏ビジョン案について
(会派〓日本共産党議員団) 古沢利之議員

Q 県は11月に国保の県域化の準備として、市町村から県に収める平成30年度の市町村納付金の概要を決めた。滑川市は被保険者1人当たり11万6千942円だ。国保税はどうなる見通しか。

A 藤田市民課長 現段階では現在の保険税率で賄うことができると考えている。保険税は納付金の10%余り低い金額になる。

Q 国保は年齢構成が高く、所得水準が低い。保険税の負担が重い。国保の構造的な問題だ。県域化でこの問題が解決するか。国の負担をもっと求めるべきだ。

A 藤田市民課長 市町村国保は構造的な問題を抱えており、負担率が高くなっている。国等の財政措置が必要であり、県域化によって解決できる問題ではないと考える。

Q 来年度から米の生産調整の政策が大きく変わる。米の直接支払交付金が廃止され、農家の収入は大きく減る。どれだけ減るか。生産調整が機能しなくなると米価が低下する心配が消えない。生産調整は国が責任を持つべきだ。

A 碓井産業民生部長 変更による影響としては、交付金の廃止による

経営不安、取り組み意欲の低下、米価下落への不安等が考えられる。平成28年度の直接支払交付金は8千764万円であった。

Q 新品種「富富富」を滑川産米の中でどう位置づけるのか。

A 碓井産業民生部長 将来的には県産コシヒカリを上回るブランド米になると位置づけ、生産振興に協力したい。

Q 富山広域連携中枢都市圏ビジョン案では、富山市が事業の推進に取り組んで、周辺市町村はそれに協力して取り組む、とされている。滑川市の主体性が維持されるのか。パブリックコメントが要綱の30日ではなく17日間とされたのはなぜか。

A 岡野企画政策課長 ビジョンの作成にあたっては、連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催し、本市からも有識者2名が参加する。連携事業について毎年見直しを図る。見直しでは市も積極的に関わり、富山市にも働きかけ、主体的に取り組んでいきたい。パブリックコメントの期間は富山市から提案されたものである。

・その他質問
ほたるいかな海上観光について

一般質問



- 1 中滑川駅周辺の土地利用計画について
- 2 沖田川中流域の溢水対策について
- 3 教育について

水野達夫 議員

Q 3月定例会での、「昨年実施できなかった協議会の運営や基本構想の委託を行う。」との答弁から9カ月が経過した現時点での進捗状況はどうか。

A 児島まちづくり課長 中滑川駅前の再開発については、駅前という重要な場所での大きな事業であることから、将来にツケを残すことがないよう検討を重ねている。現状では、協議会運営や基本構想策定の段階には至っていない。

Q 基本構想の策定に向けて市民会議を設立することやワークショップの開催、公民連携の手法を検討できないか。

A 児島まちづくり課長 市民会議やワークショップはもちろん、連携できる民間事業者を探す工夫を研究してまいりたい。

Q 例えば、賑わいを創出するための社会実験等を行うことはできないか。

A 児島まちづくり課長 市民の皆さんや民間事業者から中滑川駅前の土地を利用したいとお話をいただくことは望ましく、社会実験として取り組むことができるものについては開放し、活用いただくこと

も考えていきたい。

Q 沖田川中流域における溢水被害の軽減を図るために、暫定措置として川底をコンクリート張りとし、流下能力を向上させる対策の概要はどうか。

A 岩城建設課長 県では、河床低下による護岸崩壊の防止や水草の繁茂抑制を図るため、河床をコンクリート張りするものである。実施内容は、滑川中学校前交差点付近から下流300mの下島交差点にかけて2月16日までの工期で実施するところである。

Q 教員の働き方改革を議論している中央教育審議会において、学校における働き方改革に係る緊急提言が8月29日に公表された。この提言を受けて、滑川市の小中学校での取り組み状況を伺いたい。

A 石倉学務課長 本市でも学校における働き方改革を進めている。これまでも、教員が教育活動に専念できるようなサポート体制の充実、校務分掌の見直し、会議資料の事前配布による会議の効率化、水曜日のリフレッシュデーの設定など、働きやすい勤務環境づくりを努めている。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

一般質問



大浦 豊 貴 議員

- 1 滑川市公共施設等総合管理計画について
- 2 職員研修及び再任用実施状況について

Q 耐震補強が必要であると診断されながらも未実施の施設に対しての今後の対応はどうか。

A 石坂財政課長 現時点では東福寺野自然公園研修センターのみであり、更新や機能集約の等の有無について費用面、運用面を総合的に勘案し3年を目途に今後の方針を決定して行きたい。

Q 平成37年度末数値目標として農村研修センターと農村環境改善センター、早月側東部地区農業集落排水処理施設の統合・複合化により予測される経費削減額はどうか。

A 石坂財政課長 電気料、光熱水費、管理費用など年間620万円であり存続する期間の経費が節減されるところと考えている。今後の改修や更新費用を見込むと相当額の節減になると思っている。

Q 指定管理者に指定されている施設が数多くある中で市民のニーズを把握すること、今後どうあるべきかを市民に聞くのであれば指定管理者からの事業報告書を情報公開する義務があると思うが検討されるか。

A 下野総務課長 指摘の件に関して情報公開の方法を検討していきたい。

Q 平成29年度職員研修費に500万円計上されているが的確に予算を組まれているか。

A 下野総務課長 研修内容を積み上げる際、細かな詰をして予算は組んでおらず、予算の範囲内での研修を受講するという趣旨である。

Q 研修費500万円は市民に理解いただける額なのか。

A 上田市長 職員の資質を上げ高度な手法でもって滑川市の経営本体を支えていくためのものである。来年度も私が市長であれば500万円の予算をつけた。職員の資質が即市民の幸せに直結する研修でありたいと思っている。

Q 定年退職者の再任用を行われているが若手職員の人事、働きがいに影響はないか、組織の活性化の妨げとなっていないか。

A 石川副市長 人事の内容等は専管事項として市民の負託に應えるべく適正配置でやっている。今後再任用制度を取り入れて行く。再任用により残られた職員には若手職員の指導という役割もあるのをご理解いただきたい。

一般質問



青山 幸 生 議員

- 1 不登校について
- 2 観光振興について

Q 全国の不登校の割合は1・35%。1・3%を超えたのは統計開始以来初である。特に中学生は34人に1人の割合で不登校がいることになる。滑川市全体の小学校と中学校の児童・生徒数と不登校児童・生徒数はそれぞれ何名か。また小学校と中学校の児童・生徒数に占める割合はどうか。

A 石倉学務課長 平成28年5月1日現在、児童数は1千734名。生徒数は996名。不登校児童数は6名、割合は0・35%、不登校生徒数は24名で2・48%。市内全体小中学生で1・11%である。

Q 不登校の要因は、いじめや家庭の問題、また学業不振や人間関係など、さまざまだが状況把握は適切にできているか。

A 石倉学務課長 小学校の場合は家庭に係る要因が大きく、中学校の場合は、友人関係をめぐる問題や学業に関する問題が多い。各学校では、定期的に校内支援委員会を開き、不登校の子どもたちの状況を教員だけではなく、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの専門家の力を借りながら、対応している。

Q 教員OBの方を図書館に配置し、不登校児童・生徒に学業不振の遅れを取り戻すのはどうか。

A 石倉学務課長 青志会館の中にあゆみ教室があり、不登校児童・生徒のための適応教室を開いている。教室には教員OBを3名配置して学習支援をしている。各学校には、不登校傾向の児童・生徒や不登校の児童・生徒にしっかりと伝えていく。

Q ほたるいかミュージアムとパノラマレストラン光彩の訪日外国人旅行客は把握しているか。

A 網谷観光課長 訪日外国人について正確な来館者数を把握することとは困難である。団体客及び個人客を含めて窓口調べでは、年間350人程度であると聞いている。

Q 小学生の英語学習で生活情報掲載した英語マップをつくり、外国人旅行客へ渡すのはどうか。

A 伊東教育長 学校にもマップの提案について紹介していきたい。やはり手作りが大事。また子どもたちの目は、大人と違う目で見ることが出来る。参考にした。

一般質問



- 1 プログラミング教育について
- 2 滑川の広報について
- 3 土地の用途変更について
- 4

大門 良 輔 議員

Q プログラミングの出前授業を開催してみようだったか。

A 石倉学務課長 子ども達は与えられた課題に積極的に取り組み楽しかったという意見が多かった。思った以上に内容が簡単であり教育の中に取り入れやすいと感じた。ただ、まだ検討していかねければならない。

Q 全国各地で算数や科学、総合的な学習の時間にプログラミングを取り入れている自治体が増えてきているが、2020年の必修になる前に滑川市も導入してみてもどうか。

A 石倉学務課長 出前授業は子どもだけでなく、教員にとってもプログラミング教育の取り組み方を検討する上で大切な機会となった。多方面から情報収集を集め、今後検討して進めて行きたい。

Q 病児・病後児保育の一時預かりの施設が滑川で初めて企業主導型として設立に向けて動き出したと伺っているが、その概要は。

A 石川子ども課長 施設は病児保育室が2部屋、病後時保育室が2部屋の合計4部屋で定員は7名である。広く地域全体の児童が対象と

なり、準備期間を経て春にオープンを目指している。

Q 病児・病後児保育を継続させるために市としてのバックアップを考えているのか。

A 石川子ども課長 市民への病児・病後児保育の施設開設に関する情報提供、周知に努めていきたい。
Q リニューアルするホームページについて。

A 岡野企画政策課長 閲覧者が必要な情報を見つけやすく、かつ分かりやすいホームページにする必要があり、申請書類のダウンロード専用ページやスマートフォン用のレイアウト作製、日本語以外の言語に対応するよう構築している。

Q 魚躬地区、下島・菰原地区、上小泉地区、領家地区の土地の用途見直しについて。

A 児島まちづくり課長 各地域の現状を見ると良好な住居環境が創出され、宅地開発が検討されていることから第一種低層住居専用地域は規制が厳しいので用途見直しの検討をした。今後パブリックコメントや県知事との協議など進めて行く必要がある。

一般質問



- 1 養鶏場建設問題について
- 2 投票率向上について
- 3 教育について
- 4 富山広域連携中枢都市圏の形成について

尾崎 照雄 議員

Q 養鶏場建設問題について、タカムラ鶏園から地権者に契約解約通知書が6月30日付で送られている。当局は知っていたか。

A 碓井産業民生部長 県や魚津市、地元松倉地区と綿密に連携を図り情報収集に努めてきたが、指摘の通知書については質問されるまで承知はしていなかった。

Q 通知書の文面から、「計画を中止せざるを得ない事態に陥りました」とある。計画中止宣言であると受け止めるが、当局の見解は。

A 碓井産業民生部長 県及び魚津市に確認したところ、農地転用の許可の取り下げが行われていないのが現時点である。このことから、計画の撤回を正式に表明したことは確認されていない。引き続き今後の動向を注視してまいりたい。

Q 期日前投票制度をやりやすくするために、投票所入場券の裏面に宣誓書を印刷して、簡素化を図ってはどうか。

A 妻木監査委員事務局長 今後ますます期日前投票制度の利用者が増えると思われることから、受付での混雑解消など、有権者がより投票しやすいように、本市において

も入場券裏面の期日前投票用宣誓書の記載を検討している。

Q 滑川市としての教育の情報化の最終目標は。

A 石倉学務課長 現在、滑川市教育情報化推進計画の作成に取り組んでいるところだが、3つの目標を掲げている。「滑川の未来を創る児童生徒の情報活用能力の育成」、「効果的なICT活用を通して、分かりやすく深まりのある授業の実践」、「情報セキュリティの確保と校務の情報化の推進」の3つである。最終的には児童・生徒の生きる力の育成と学校の教育力向上の実現を図っていきたい。

Q 富山広域連携中枢都市圏の形成に、具体的取り組みとして有害鳥獣農作物被害対策事業があるが、獣肉処理場の検討は。

A 藤名農林課長 捕獲した有害鳥獣の獣肉については、現在は主に捕獲者による自家消費など適切に処理している。獣肉の有効活用や流通の観点からも、今後の生息状況や捕獲状況を勘案しながら、施設の整備等を検討課題に入れていきたい。

一般質問



1 通学路の安全安心について
2 市有地の活用について
3 タラソピアの今後について
4 地区公民館について

開田 晃江 議員

Q 上島地内の団地造成第2期工事の中で、通学する西部小学校の児童の安全、安心は確保されるか。

A 膳亀教育委員会事務局長 通学路は、子ども達の安全、安心を守ることが一番重要なこと。第2期工事の計画の内容がまだわからないが、協議が始めれば、市として指導、指示は当然していく。

Q 西部小学校の前の道路に、緑の破線と「通学路・30」と標示されている。市内、全ての小学校のメイン道路に「通学路・30」または20と標示してもらいたいと思うか。

A 膳亀教育委員会事務局長 「通学路・30」を標示するとすれば、県道であっても市ですることになると思う。全部同時にということは難しいが、条件をクリアし、できる学校から検討する。

Q 市道柴常光寺線の沿線に「市有地」と看板が掲げられている。今後どのように整備されるか。

A 石坂財政課長 今後の整備活用として、周辺の環境など勘案し、地域住民の憩いの場となる緑地広場としての整備がよいと考えている。

A 上田市長 できれば来年度にや

りたいと思う。

Q 今、海洋深層水を活用するためにも、タラソピアについてしっかり考える時期ではないか。修繕に費やす経費は、いつ頃までに、どれくらいかかるか。建築物は、

A 網谷観光課長 海水系統施設の修繕計画は、10年で約2億円の修繕費を見込んでいる。建物については、ほとんどさびが見られず、建物の耐力に影響がない。

Q 市内の病院で、リハビリのため深層水を活用した、リハビリテーション温浴施設の設定はどうか。タラソピアの移設の考えはないか。

A 上田市長 今、出た話なので、検討していきたい。

Q 公民館指導員の活動は、年々活発になってきている。週4日勤務ではなく、5日勤務にして報酬をアップするべき。現在週4日の勤務で週に28時間、月に112時間で、報酬は8万5千円、時間給、758円最低賃金より少ない。少なすぎないか。

A 上田市長 滑川市は、人件費関係については、抑える、抑えるで最低賃金を割り込んでいる。全体の外郭団体についても、報酬について再度検討していく。

一般質問



1 市長選再出馬について
2 三期目の決意と公約について
3 手話の普及について

脇坂 章夫 議員

Q 本会議場場で再度出馬の表明をいただきたい。

A 上田市長 本会議場で出馬の質問は出ていないが、私の口から出馬については何回か話している。しがらみのないオール市民のための民衆政治を目指す。

Q 三期目の決意と公約について伺う。

A 上田市長 政策については一期、二期と市民の皆さんと一緒に協働のまちづくりに努めてきた。限られた財政で、市民が求める、市民の意向に沿った政策を展開したい。政治的なあかしは形にあらわれて目を確認できる、それが政治だということ。それを改めて申し上げたい。

何よりも、人口が安定することが時代の要求である。このことについて、2人目の子どもの保育料を無料化する。将来とも人口がしっかりしているまちでないと、まちは継続を保つていけないことになる。人が元氣、まちが元氣、産業が元氣の柱、そういう滑川市をさらに強めていきたい、職員とも一緒に滑川市づくりに邁進してまいりたい。

Q 公約があればお願いしたい。

A 上田市長 公約をまとめている最中である。中滑川駅前再開発、滑川独自の農業、漁港周辺のほうに心をしっかりと向けて対応する。

Q 滑川市手話講習の実態について伺う。

A 澤口福祉介護課長 本年4月の滑川市手話言語条例を機に、広く市民に手話に触れる機会を提供し、手話の普及を目指すミニ手話講座をこれまで7回開催して、市民の皆様が手話に触れていただいている。来月以降、民生委員、町内会、商店に従事している方々を対象に講習会等を予定している。市内の手話サークル「めばえの会」の皆さんのご指導をいただいた。市社会福祉協議会では、小中高生を対象に夏休みボランティア体験において手話学習を取り入れたところである。

Q まだまだ多くの方々に手話を広めるため何か考えがあるか伺いたい。

A 澤口福祉介護課長 ポスター、市の広報、Net3などを用いた簡単な手話の紹介を考えている。

一般質問



1 子育て支援の充実について
 2 子ども達の学力向上について
 3 コミュニティバスの利便性の向上について
 4 市内体育施設の利用者増に向けて

竹原 正 人 議員

Q 保育環境の充実について、本市の取り組みは。

A 石川子ども課長 認定こども園への移行の推進や老朽化した保育施設の改修費助成などによる施設整備、保育士の処遇改善、保育施設への専門員の派遣、延長保育、休日保育、体調不良児を受け入れる病児保育などの対応の拡充に取り組んでいる。

Q 小学生における英語教育について、次期学習指導要領に対応するための取り組みは。

A 石倉学務課長 平成32年度から3、4年生に外国語活動、5、6年生に外国語科が実施される。平成30年度には、その移行のために3、4年生で新たに外国語活動が15時間実施され、5、6年生では15時間増え、年間50時間の外国語活動が実施される。実施に向けて英語中核教員が県内外の研修会に参加し、英語教育の最新の情報を得るようにしている。新年度はどの学校も安心して自信を持って取り組むことができる環境を整えていく。

Q 土曜授業についての検証は。

A 石倉学務課長 今年度は各校、

これまでの取り組みを踏まえ、従来の基礎、基本の定着を図る取り組みのほかに、本格的に始まった科学の時間を土曜授業に実施し、発展的な実験、体験的な活動がたくさん取り組まれている。それぞれの学校が工夫しながら、より良い土曜授業に努めている。

Q コミュニティバスの利便性の向上について、日常の通学の足として利用してもらうために、中学生高校生の利用促進に努めるべきと考えるが、見解は。

A 黒川生活環境課長 今年度策定中の地域公共交通網形成計画において、通勤通学者が利用している朝夕の便について、より利便性の高い運行体系にできないか検討を行う。フリーパスや回数券については前向きに検討していく。

Q 市内体育施設の利用者増に向けて、料金区分は1時間単位で設定すべきと思うが、見解は。

A 落合スポーツ課長 利用者が利用しやすい施設運営を行い利用者の増加につながるよう、今後、指定管理者である滑川市体育協会と協議し、利用実態やニーズも踏まえた対応についても検討する。

一般質問



1 北アルプス横断道路構想推進について
 2 東部山麓道路の整備促進について
 3 博物館の活用について
 4 子どもの貧困対策について

浦田 竹 昭 議員

Q 県議会が中心となり、新組織「北アルプス横断道路構想の実現を目指す推進会議」が設立された、その概要について伺う。

A 岡野企画政策課長 県東部の9市町村、9市町村議会、国会議員、県議会議員、更に構成市町村内の商工会議所等関係諸団体で組織され、3ルートを一体化し、構想の実現に向けて活動していく。

Q 「新川ルート」「上市ルート」「立山ルート」3ルートの内の、当市のスタンスは、上市町、魚津市、当市の3市町の連携と、今後の取り組みについて伺う。

A 岡野企画政策課長 上市ルートを推進していきたいと考えており、その実現に向けて隣接市町と手を携えて取り組んでいきたい。

Q 東部山麓道路整備のなかなか進まない現状と、今後の予定、取り組みについて伺う。

A 岩城建設課長 平成20年度から事業開始し、計画延長約2.5kmのうち、約1.6km区間の盛り土工事、横断構造物の一部が整備されておき、引き続き事業の推進を県に強く要望していきたい。

Q 博物館の観光資源としての利活

用として、商工会議所からも要望されている定点カメラの設置、西側外構に市をイメージしたイルミネーションの設置、並びに展望スポットとして、屋上の一部開放について伺う。

A 地崎生涯学習課長 定点カメラの設置については、各放送局の判断によるものと考えている。またイルミネーションについては、イメージアップ効果はあまり期待できないものと思っており、慎重に検討する必要がある。そして博物館の屋上は歩行を前提としておらず、雨漏りの危険性、防災上の問題もあり、開放は考えていない。

Q 子どもの貧困対策として、当市の子どもの貧困世帯の現状について、また貧困対策としての取り組み、そして全国「子どもの未来を応援する首長連合」への加盟と、総合的な施策推進について伺う。

A 石川子ども課長 地域の民生委員、学校、保育所等からの情報提供により把握しており、本市では、首長連合には加盟の予定はないが、子どもたちの明るい未来の実現のために必要な支援に努めていきたい。

一般質問



1 滑川駅の利用増加のための
取り組みについて
2 防災について

角川 真人 議員

Q 免許証を返納した高齢者の方に、鉄道を利用してもらえるように、高齢者用のゴールドパス等の購入費の助成など考えてみてはどうか。

A 岡野企画政策課長 高齢者運転免許自主返納支援事業として、バスの3年間のフリーパスを発行しているが、鉄道に関しては割引制度等を設けていない。市としては列車とバスの接続の調整、高齢者に対する割引制度の拡充を働きかけ、取り組みを進めたい。

Q 滑川駅のホームをつなぐ跨線橋の階段が高く、高齢の方や体の不自由な方が不便を訴えている。エレベーターを設置できないか。

A 岡野企画政策課長 国の方針として、1日当たりの平均利用者が3千人以上である駅は原則としてエレベーター・スロープの設置による段差解消等を実施するとなっており、国の補助も用意されているが、滑川駅は平均2千800人と基準を満たしておらず、国の補助の対象にならない状況である。

Q 平均3千人未満でも、高齢者・障がい者等の利用実態を踏まえ可能な限り実施ともあるがどうか。

A 岡野企画政策課長 例外的だが補助の可能性もある。設置ができるよう努力する。

Q 津波対策の補助事業で、ライフジャケットの購入を町内で検討したら各家庭に1着ずつだったと聞いたが、本当か。

A 下野総務課長 基本的に各家庭に1着程度しか整備されていないと聞いている。

Q 1人1着ずつ持てるように補助を改めて行えないか。

A 下野総務課長 ライフジャケットは1着3千円程度となっている。補助事業についてはまた考えたい。

Q 国や県で住宅密集地での火災を予防するための、連動式火災報知器のモデル事業を始めている。滑川市にも昔からの木造住宅が密集する地域があり、そうした地域に空き家も増えている。このモデル事業を参考に検討してはどうか。

A 元起消防署長 富山県では、今年度から富山県住宅密集地火災予防等モデル事業補助金を創設し、高岡市、魚津市が2年から3カ年計画で実施している。その結果を見ながら県へ要望していきたい。

・その他の質問事項
町なかにについて

要望書

件名及び提出者

処理結果

①請願・陳情（1件）

- 1 情報公開の現代化を求める陳情書……………採 択
市民オンブズ滑川 毛利 豊

②要望書（6件）

- 1 平成30年度 理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてのお願い……………全議員へ参考配付
公益社団法人日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇
- 2 要望書（公共施設等における木材の利用促進について）……………全議員へ参考配付
富山県木材組合連合会 会長 西村亮彦 外3団体
- 3 特区「科学の時間」見直しに関する追加資料配布の要望書……………全議員へ参考配付
滑川の教育をただす市民の会 代表 毛利 豊
- 4 平成30年度滑川市行政施策に対する要望書について……………全議員へ参考配付
滑川商工会議所 会頭 今家英明
- 5 要望書（浄化槽関係予算の拡充 他5項目）……………全議員へ参考配付
一般社団法人日本環境保全協会 会長 山条 忠文 外2名
- 6 要望書（一般廃棄物処理業務委託について安定かつ恒常的な適正契約締結について
他3項目）……………全議員へ参考配付
富山県環境保全協同組合 理事長 上田 勝朗 外1名

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、3月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。

議会の傍聴をしてみませんか？

昨年に引き続き、本年も土曜議会を開催します。本年は会派代表が質問を行う代表質問と、一般質問が行われます。傍聴の手続きはとても簡単です。ぜひ、お誘いあわせの上、傍聴においでください。(小・中学生も傍聴できます。)

【開催日】 **3月10日(土) 午前10時～**

傍聴は簡単 3ステップ

ステップ1 市役所に行く

議会があるのは市役所の3階。
まずは議会事務局へ行こう。



議会があるのは
このあたり

予約不要!!

ステップ2 申込み書類を書く

書くのは住所、氏名、年齢のみ。
書いたら傍聴券と書類をもらおう。



受付は
30秒で終了♪

超簡単!!

ステップ3 議場に入る

入ったら椅子に座り、話を聞くだけ。
わからないことがあったら、書類を
見てみよう。



議場には
この扉から

静かにね♪

ポイント

★代表質問・一般質問
市政や提出された議案について、議員が市長に対し質問します。
代表質問の制限時間は40分で、一括質問方式、一問一答方式のいずれかを選択します。一般質問の制限時間は30分で、一問一答方式のみで行います。なお、市当局の答弁時間は含まれません。

3月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘要
3月2日(金)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
5日(月)	10時	補足説明
10日(土)	10時	代表、一般質問(土曜議会)
12日(月)	10時	一般質問
13日(火)～15日(木)	10時	予算特別委員会
16日(金)	10時	総務文教消防委員会
19日(月)	10時	産業厚生建設委員会
22日(木)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決

議 決 結 果

議案番号	議 案 内 容 等	委員会	採決結果
議案第69号	滑川市監査委員の選任について（第2回臨時会）		原案可決
議案第70号	地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて（第2回臨時会）		原案承認
議案第71号	平成29年度滑川市一般会計補正予算（第4号）	総産	原案可決
議案第72号	平成29年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	産	原案可決
議案第73号	平成29年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	産	原案可決
議案第74号	平成29年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	産	原案可決
議案第75号	平成29年度滑川市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	産	原案可決
議案第76号	平成29年度滑川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	産	原案可決
議案第77号	滑川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第78号	滑川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第79号	滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第80号	滑川市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第81号	滑川市下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用するための関係条例の整備に関する条例の制定について	産	原案可決
議案第82号	滑川市はたるい観光施設の指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第83号	滑川市海洋深層水分水施設の指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第84号	滑川市東福寺野自然公園の指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第85号	滑川市東福寺野自然公園研修センターの指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第86号	滑川市総合体育センターの指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第87号	滑川市みのわテニス村の指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第88号	滑川市スポーツ・健康の森公園の指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第89号	フットボールセンター富山の指定管理者の指定について	総	原案可決

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。
※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会

賛 否 一 覧 表

12月定例会は全員賛成だったため、賛否一覧表は掲載しません。

下記のQRコードからYouTube滑川市議会チャンネルにアクセスできます。



議会報
編集委員会から

議会改選に伴い新しいメンバーで議会だよりを作成することとなりました。2年間よろしく願います。「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。

詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 475-2111
(内線371)

【議会報編集委員】

角川 真人 委員長
岩城 晶巳 副委員長
大門 良輔 委員
竹原 正人 委員
尾崎 照雄 委員
水野 達夫 委員
開田 晃江 委員
(1月28日失職)